

復興フォローアップ委員会（第1回）次第

日 時：平成18年6月18日（日）10:00～11:30

場 所：ラッセホール リリーの間

1 開 会

2 開会挨拶

3 議 事

- ・平成18年度の復興フォローアップについて
- ・高齢者の自立支援及びまちのにぎわいづくりについて
- ・その他の残された課題等について

4 閉 会

配布資料

- 資料1 平成18年度の復興フォローアップについて
- 資料2-1 高齢者の自立支援プログラム2006の進捗状況
- 資料2-2 「高齢者自立支援ひろば」の開設
- 資料3-1 まちのにぎわいづくり推進プログラム2006の進捗状況
- 資料3-2 「まちのにぎわいづくり一括助成事業」の実施
- 資料4 震災復興に係る残された個別課題や復興の過程で生まれた先導的取り組み（例）
- 資料5 復興10年総括検証459提言一覧
- 参考1 高齢者自立支援プログラム2006事業一覧
- 参考2 まちのにぎわいづくり推進プログラム2006事業一覧
- 参考3 阪神・淡路大震災の復旧・復興の状況について
- 参考4 復興フォローアップ委員会設置要綱
- 阪神・淡路大震災復興10年総括検証・提言報告の概要

復興フォローアップ委員会委員名簿

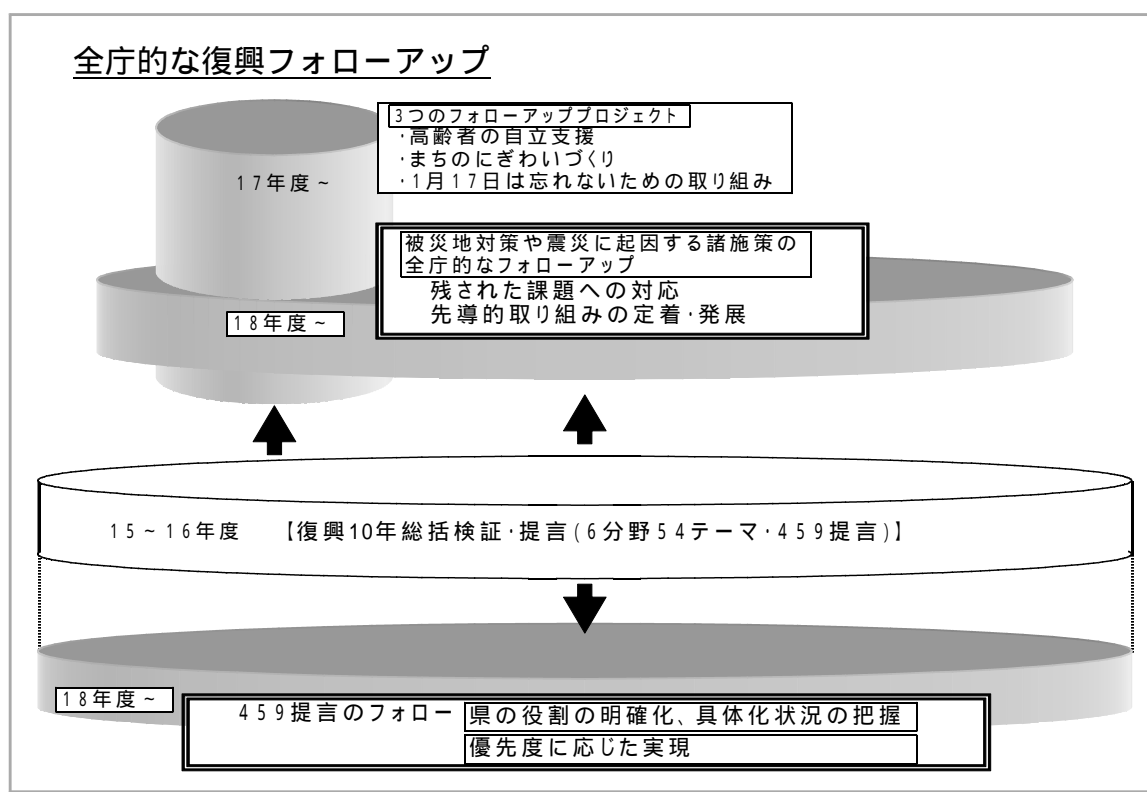
氏 名	所 属 ・ 職
石井布紀子	コラボねっと取締役
市川 禮子	社会福祉法人尼崎老人福祉会理事長
梶本日出夫	神戸市助役
加藤 恵正	兵庫県立大学教授
角野 幸博	関西学院大学教授
河野 昌弘	西宮市助役
小林 郁雄	阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク代表
地主 敏樹	神戸大学大学院教授
立木 茂雄	同志社大学教授
中島 克元	神戸まちづくり協議会連絡会事務局長
松原 一郎	関西大学社会学部長
室崎 益輝	消防大学校消防研究センター所長
矢守 克也	京都大学防災研究所助教授
善積 康子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員
(顧問)	
新野幸次郎	神戸都市問題研究所理事長
野尻 武敏	ひょうご震災記念21世紀研究機構会長

平成 18 年度の復興フォローアップについて

1 18 年度の推進方針

ポスト復興10年の2年目である18年度については、「高齢者の自立支援」「まちのにぎわいづくり」「1月17日は忘れないための取り組み」の3つの復興フォローアッププロジェクトを昨年度に引き続き、重点的に推進する。

また、その他の残された個別課題への対応や復興の過程で生まれた先導的取り組みの定着・発展などについて、復興10年総括検証459提言等をもとに、総合的な視点でのフォローアップに取り組む。



(1) 復興フォローアッププロジェクトの推進

震災復興の残された課題である「高齢者の自立支援」及び「まちのにぎわいづくり」について、高齢者自立支援及びまちのにぎわいづくり推進プログラム2006に基づき、施策を実施するとともに、復興フォローアップ委員会からの提言を踏まえ、19年度の推進プログラムを策定する。

高齢者の自立支援

高齢者の“安心・元気”につながる自立支援のしくみの構築に向け、高齢者自立支援ひろばの開設など、高齢者が安心して暮らせるしくみづくりを進めるとともに、まちの保健室の展開など、高齢者の元気づくりを支援する。

まちのにぎわいづくり

まちの“元気創出・資源活用・再生促進”によるにぎわいづくりに向け、多様な主体の参画と協働を積極的に進めるとともに、“まちの資源”を活かした地域の魅力づくり、復興市街地整備事業の早期完成とにぎわい再生を進める。

(2) 残された個別課題への対応等

残された個別課題への対応

震災復興に係る未償還の貸付金等対策など、震災復興全般にわたる残された懸案、課題について、現状、課題、今後の方策等を整理したうえで、その解決に向けた取り組みを進める。

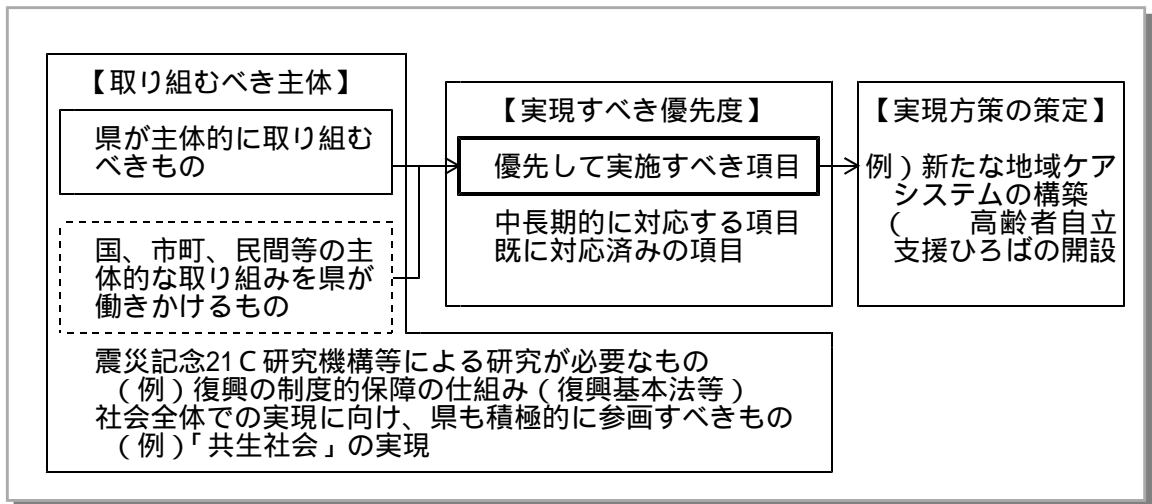
先導的取り組みの定着・発展

まちの保健室やコミュニティビジネスなど復興の過程で生まれた先導的な取り組みについて、現状・課題の整理や今後の取組方策の検討等を行い、一般施策の中での定着・発展を進める。

復興10年総括検証459提言のフォロー

復興10年総括検証の提言（459項目）についても、県として、その成果の継承に遺漏なきよう、県の役割、具体化の状況等を把握し、優先度に応じて実現を図っていく。

< 参考：459提言の位置づけの整理と優先すべき事項に係る具体化方策の検討イメージ >



2 復興フォローアップ委員会の役割

復興フォローアップの円滑かつ効果的な推進を図るため、次の役割を担う。

高齢者の自立支援及びまちのにぎわいづくりに係る課題を把握し、今後の取組方向についての提言をいただく。

復興施策全般にわたる個別課題への対応や先導的取り組みの定着・発展についての方策、総括検証459提言等のフォローについても意見をいただく。

復興フォローアップ委員会							
役割	高齢者自立支援及びまちのにぎわいづくりに向けた提言の策定 個別課題等への対応や総括検証459提言のフォローに関する検討						
構成	・座長、副座長(専門委員長兼務)2名、委員11名、顧問2名 計16名						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">高齢者自立支援専門委員会</th> <th style="width: 50%;">まちのにぎわいづくり専門委員会</th> </tr> <tr> <td>役割</td> <td>高齢者自立支援及びまちのにぎわいづくりに向けた提言案の作成 現地調査(関係課室職員も同行し現場の実態や課題等を把握) 復興タウンミーティングの実施</td> </tr> <tr> <td>構成</td> <td>・専門委員会ごとに9名</td> </tr> </table>		高齢者自立支援専門委員会	まちのにぎわいづくり専門委員会	役割	高齢者自立支援及びまちのにぎわいづくりに向けた提言案の作成 現地調査(関係課室職員も同行し現場の実態や課題等を把握) 復興タウンミーティングの実施	構成	・専門委員会ごとに9名
高齢者自立支援専門委員会	まちのにぎわいづくり専門委員会						
役割	高齢者自立支援及びまちのにぎわいづくりに向けた提言案の作成 現地調査(関係課室職員も同行し現場の実態や課題等を把握) 復興タウンミーティングの実施						
構成	・専門委員会ごとに9名						

3. スケジュール

